
受胎告知

みお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

受胎告知

【Nコード】

N1332A

【作者名】

みお

【あらすじ】

最終兵器彼女のちせのストーリー。

「脈拍、呼吸、血圧共に安定しています」

「どうやら成功したようだな」

ーラボの心臓部では、異様な光景の中、安堵の溜息が漏れていた。
沢山の線に繋がれた少女と、それを取り囲む研究者達。残酷とも言えるはずのその場には、妙に穏やかな空気が流れていた。
その時まで。

「……！脳波に異常が現れています！」 「呼吸が弱くなった！急に何故！？」

ふいに騒然となった中、当の本人は穏やかな寝顔だった。

『ここ……どこだろう？』

もやの様な白い空間に、彼女はいた。

『……夢？……あ。』

その景色の中に、うずくまっている様な何かがあった。

『何か聞こえる。泣いてる……？』

「どうしたの？何で泣いてるんかなあ？」

近寄った瞬間、『え？』

何か が胸を貫いた。

「誰？何で……」

来るなあつつ ワタシはオマエたちの塊 オマエたちの恐怖心、
野望、猜疑心 それ以外の何物にもなれない存在 それがワタシ
何故ワタシという絶望を造った……！！ あああアアアアア

壊れたラジオの様なノイズの様なメッセージが意識一杯に送り込ま

れた。

同時に、痛みよりも強い悲しみが視界を覆った。
そしてそれは、彼女を考える間も無く突き動かした。

「ごめんね」そう言って貫かれたまま、それを抱きしめた。

「ごめんね。何もかも。泣かないで。苦しまないで。何も出来なくてごめんね、こんなに泣いてるのに。」

自分の中から浮かんでくる言葉はどれももどかしく思えて、足りなくて。

「もう孤独にさせないから。私も背負うから。…一緒に…いるから。」

幼い子供に語りかけるように穏やかに、精一杯伝え続けているうちに、段々と空間ごとそれと溶け合っていくのが解った。

『私…は…ワタシは…？ああ。わたしなんだ。』

「！数値が戻ってきました！呼吸も落ち着きました！」

その言葉に全員の顔色が戻って行った。

「一体何だったんだ…僅か数分でこんなに数値が動くんなんて…」

訝しげな顔を少女に向けた時、異変に気がついた。

「これは…こんな傷いつ？」

それはまるで聖痕のように、
胸に深く刻み込まれていた。
とても鮮やかに。

(後書き)

私の中で、ちせの兵器に対する態度が時々お腹の子に呼びかけるお母さんの様に見えて、こんな世迷言が沸いてきました(一・一;)主婦の戯言です。

：石は投げんといってください：

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1332a/>

受胎告知

2010年10月9日01時23分発行